

目地セメント

外装用化粧目地材

荷 姿



25kg紙袋

標準使用量

目地幅:4mm以上

タイル形状	塗面積(m ²)
50角タイル	11~13
50二丁タイル	13~15
小口平タイル	6~8
二丁掛タイル	6~8

目地セメントは、タイル張りの建物の美観を整えつつ、タイル張付け面への雨水の浸入を抑制する化粧目地専用プレミックスモルタルです。

特 長

- コテ伸び等作業性がよく、適度な粘性や保水性を有していますので目地がキレイに仕上がります。規定量の水道水と混練するだけでよく配合管理も簡単です。
- 無機顔料を使用している為、発色がよく耐候性・耐退色性に優れています。
- 陶器ブロック、ガラスブロック、その他装飾用目地材としてもご使用いただけます。

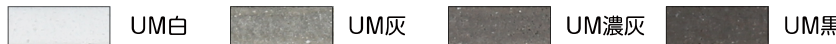
製品仕様

適用部位	内外装壁面、内外装床面
適用目地幅	4~15mm(※)
推奨目地幅例	モザイクタイル(4~5mm) 小口平タイル・二丁掛タイル(6~10mm)
適用工法	塗り込み目地工法、1本目地工法(チューブ詰め工法)

※目地幅が10mmを超える場合は押さえ仕上げを行ってください。

色 調

本色調は印刷イメージの為、実際の色調とは異なります。



試験表

下記の試験結果は、試験方法によって定められた条件によって得られたデータであり、実際の現場での性能を保証しているものではありません。

(財)建材試験センター

項目 [単位]	試験結果	品質基準
保水率 [%]	40.4	30以上
長さ変化率 [%]	0.112	0.2以下(収縮)
吸水量 [g]	28.4	50以下
単位容積質量 [kg/ℓ]	2.00	参考値 1.80以上

試験方法：(一社)公共建築協会 既調合目地材

二瀬窯業(株) 試験室

項目 [単位]	試験結果	品質基準
曲げ強さ [N/mm ²]	6.9	—
圧縮強さ [N/mm ²]	32.2	—

試験方法：JIS R 5201

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0404030
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

水濡れ厳禁 無石綿 業務用



二瀬窯業株式会社

Making quality premixed mortar through research and development

調 合

目地セメント	水道水
1袋(25kg)	5.5~6ℓ

工法と目地幅

充填工法	適応目地幅(mm)
塗り込み目地	4~10
塗り込み目地 +目地押さえ	11~15
一本目地	8~15

関連資料



混入型モルタル接着増強材
(EVA系合成樹脂エマルジョン)
JIS A 6203規格適合品
ユニレックス3
[18kg/缶]



混入型抗薬品タイプ特殊樹脂
(スチレン・アクリル共重合エマルジョン)
耐酸樹脂
[18kg/缶]



ISO 14001取得企業

プレミックスモルタルの総合開発メーカー
二瀬窯業株式会社
http://www.futaseyogyo.co.jp/

施工方法

※施工について詳しくは施工要領書をご請求ください。

① 施工部位のチェック

- ・目地セメントの施工は、タイルの張付材が十分に硬化してから行なってください。
- ・施工時は、施工面が直射日光、雨、雪、強風にさらされないようシート掛け等によって保護してください。
- ・せっき質タイル、粗面のタイル、無釉タイル、白系色タイルへの施工は、タイルに付着した目地汚れが取れにくく、タイルの色調を損なう場合がありますので、必ず事前に試験塗りを行なってご確認ください。
- ・モザイクユニットタイルへの施工の場合は、タイル表面にユニット紙の糊が残存していないか確認してください。ピンホールや色ムラ、タイルの汚れ等の原因になりますので、施工の前に十分に除去しておいてください。

② 材料の混練

- ・左表の割合に基づき、バケツに練り水を入れ、目地セメント粉体を徐々に加えながら、モルタル用かくはん機等を用いて練り残しのないよう十分に練り混ぜてください。
- ・練り混ぜた材料は60分以内に使用ください。練り直しや水を加えての練り直しは行わないでください。

③ 目地詰め

- ・タイルの側面や下地の吸水が激しい場合は、硬化不良やひび割れ予防のため目地部分に水湿しを行ってから施工してください。
- ・目地セメントの充填許容幅は4~15mmです。ただし、11~15mm幅の場合は**目地押さえ**を行なってください。

塗り込み目地工法

- ・練り混ぜた目地セメントをゴムこてでタイル面から押さえ込むように目地部に塗り込み、目地内部に空隙が残らないよう十分に充填してください。
- ・乾燥具合を見計らって、一度水を含ませ固く絞ったスポンジでタイル表面に付着した目地セメントを拭き取ってください。

⚠ 拭き取り後に目地表面に浮き水が残存すると色ムラの原因となりますので、浮き水が残らないようスポンジで拭き取ってください。

一本目地工法(チューブ詰め工法)

- ・目地詰め用チューブに練り混ぜた目地セメントを詰め、目地部に沿って絞り出すように充填してください。隙間や空隙が出来ないように目地ゴテで押さえ込んでください。
- ・水引具合を見計らって余分な材料は目地ゴテで除去し、目地幅に合った目地ゴテで押さえ仕上げを行ってください。

⚠ 色ムラの原因となりますので、押さえ仕上げ時は意図の硬さのタイミングで仕上げを行ってください。(水引具合は気温・湿度等の施工環境に影響されますので注意してください。)

④ 養生

- ・施工後2日間は、施工面が直射日光、雨、雪、強風にさらされないようシート掛け等によって保護してください。
 - ・タイル表面の洗浄を行なう場合は、目地セメントの材齢が7日間以上経過してから行なってください。
- ※塗り込み目地で押さえしないまま仕上げた場合は、色ムラが生じやすいので原則として酸洗いを行ってください。
- 酸洗い方法：対象部分付近の金属部材を養生し、対象部およびその周辺に散水を施し、濃度3%以下の塩酸でブラシを用いて洗ってください。(こすりすぎた場合、骨材が露出し色調に不具合が生じることがありますのでご注意ください。)
- 白華現象(エフロレッセンス)が生じた場合も同様に酸洗いを行なってください。
- なお、酸洗いは材齢2週間以上経過してから行なってください。
- 酸洗い作業は、必ず現場管理者の承認を得て行ってください。

注意事項

※本製品の仕様は予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。

目地セメントの施工前には必ずカタログや施工要領書、安全データシート等をよく読んで注意を十分に理解した後に施工を行ってください。

1. 白色系タイルへの施工は、目地汚れが取れにくく色調を損なう場合がありますので、必ず試験塗りを先行除去方法も含めてご検討ください。(せっき質タイルや粗面のタイルも同様)
2. モザイクユニットタイルへの施工の場合は、タイル表面に糊が残存していないか確認してください。ピンホール、色ムラ、タイルの汚れ等の原因となりますので、目地セメント施工の前に十分に除去しておいてください。
3. 目地深さは3mm以上を推奨します。塗り厚が薄すぎると、色ムラや硬化不良が発生する場合があります。
4. 目地セメントは施工厚さの違いによって色調に差が生じる場合があります。目地の厚さに極端な差があると色ムラが顕著に生じる恐れがありますので、出来るだけ一定の目地深さを確保してください。
5. 目地詰め施工の際、吸水しない下地(タイルを有機接着剤張りで施工した場合等)では乾燥時の水分が全て表面側に移動してくることで白華現象(エフロレッセンス)が発生しやすくなります。施工時の環境が低温であるほど顕著になりますのでご注意ください。
6. 目地セメントは、温泉・温水プール等の公衆浴施設では使用しないでください。炭酸泉やその他酸性成分を含む、または発生する環境では施工した目地セメントに劣化が生じます。弊社「耐酸樹脂」を目地セメント1袋(25kg)に対して1~2kg添加する事で酸性への耐久性を向上させることが可能ですが、養生条件や環境条件によっては効果が得られない場合があります。また、炭酸泉中では効果がありませんのでご注意ください。
7. 施工後もなるべく水に濡れたり、低温多湿な環境が続いた場合、白華現象(エフロレッセンス)が生じやすくなります。
8. 硬化後の目地部の清掃には酸性洗剤や酸性を生じさせる洗浄剤等は使用しないでください。
9. 日常のお手入れでブラッシングされるような場所では、著しく摩耗の生じる恐れがあります。
10. 耐摩耗性が必要な環境に施工する場合は、目地幅に関わらず「押さえ仕上げ」を行ってください。摩耗が激しいと予想される場合、目地セメント1袋(25kg)に対して1kgの配合で「ユニレックス3」または「耐酸樹脂」の添加もご検討ください。
11. 製品の保管は、屋内の湿度の少ない場所で、パレット等に載せて床から離してください。
12. 目地セメントの品質保持期間は、製造後約4ヶ月です。
13. 固まったものの使用は避けてください。
14. 気温が3℃以下及び3℃以下になると予想される場合は、施工は行わないでください。
15. 目地セメントには混練水、ユニレックス3または耐酸樹脂の他、弊社が特に指定するもの以外は混入しないでください。
16. 製品のお取扱いに際しては、適切な保護具(保護手袋、保護メガネ、防塵マスク等)を着用のうえ、適切な安全対策を実施してください。



目地セメントは安全に正しくお使いください。

製品資料・SDS等は別途ご請求ください

20221018.23

本 社 ・ 工 場 福岡県飯塚市横田699
〒820-0044 tel(0948)22-0447 fax(0948)29-0289

関 東 工 場 千葉県木更津市新港15-8
〒292-0836 tel(0438)30-7372 fax(0438)30-7472

福 岡 営 業 所 福岡県飯塚市横田699
〒820-0044 tel(0948)22-0447 fax(0948)29-0289

名古屋営業所 愛知県清須市西枇杷島町弁天45 ヤマモリビル 1F
〒452-0006 tel(052)509-2485 fax(052)509-2486

東京営業所 東京都港区芝2-27-8 マスマンビル 2F
〒105-0014 tel(03)6453-6685 fax(03)6453-6686

大阪営業所 大阪府大阪市港区南元町2-8-18 ワールドビル 2F
〒552-0002 tel(06)6583-3310 fax(06)6583-3325